

ヨーヨーお手玉に挑戦！



2月8日（木）に、1～4年生は、『お手玉 YOYO』の学習を行いました。
 この取り組みは、5・6年生が、1学期に両荘中学校で、『平和学習』をしたことがきっかけとなっています。国際協力の実践をお聴きしている中に、『お手玉 YOYO』の話が出てきました。言葉が通じなくても、お手玉を通して心を通わせた経験を話していただきました。この度、その『お手玉 YOYO』を平荘の子どもたちに実際に体験してもらおうと計画したものです。



『お手玉 YOYO』は、失敗がありません。けん玉のように迎えに行かなくても、お手玉が勝手に返ってきます。



基本は、両足でしっかり立って、爪先に向かって投げるとお手玉が返ってきます。



『失敗したら、だんだん上手になる』という言葉が素敵でした。

ヨーヨーお手玉を使って、ヨーヨーを下に、上に、前に、両サイドに、交互に・・・と、いろいろな遊び方があります。両手を一度に動かすのはなかなかコツがいるものですが、子どもたちは、夢中です。
 『お手玉 YOYO』の学習の後は、休み時間の度に、いろいろな学年が、職員室に『お手玉 YOYO』を借りに来ます。
 『国際平和』のお話の中では、戦火を逃れて避難している人たちの心を癒すために、『お手玉 YOYO』を紹介したそうです。子どもたちには、まず『お手玉 YOYO』の魅力に触れてもらいました。

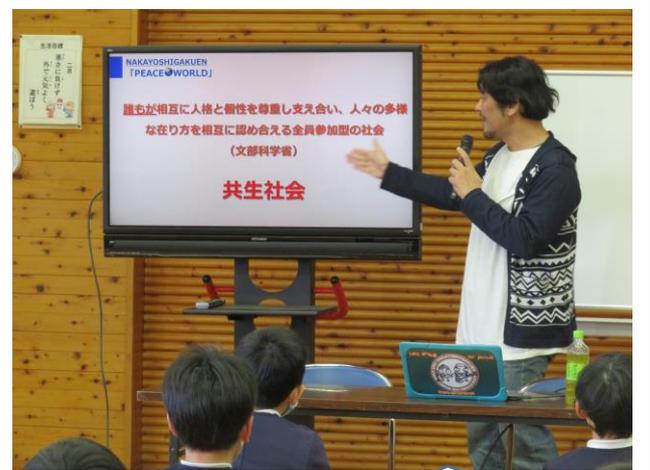
平和学習（両荘みらい学園：プレ学習）《NO.1》

2月8日（木）に、5・6年生が、なかよし学園の中村先生をお招きして、平和学習を行いました。



中村さんは、高校生の時に、震災でまちが燃えているのを見て何もできなかったことがきっかけで、ボランティアを始められたそうです。

中村さんは、『人生は、ある時一変します。災害、貧困、疫病、戦争・・・』と言われました。



「みなさん、1億円あったら何がしたいですか？」
「100億円あったら、どうしますか？」
《ビル・ゲイツのお話を紹介》
・エイズの病気の研究に、お金を使った話



人は、辛い状態になると、生きるために必死になる。そして、『違い』を見つけて攻撃します。

『同じ』を見つけたら、友だちになれる！

違いを見つけると、人はけんかをする
同じを見つけると、仲良くできる
本当に好きだと、違いを認められる

人間はみんな同じ
みんな同じ人間だから